

アラビア語学習支援システムの開発

サレム アル・ネアイミ †1 原田 紀夫 †2
拓殖大学工学部情報工学科 ‡

1 はじめに

これまでアラビア語は日本人にとってあまりなじみのある言語とは言えず、日本人には見慣れない文字や記述法などをもつ言語となっている。しかし、最近テレビ、新聞などのメディアでアラビア語の人名、地名などを見聞きする機会が急増しているため、アラビア語に関心を持ち、勉強を始めている人が徐々に増えている。

アラビア語は一つの国の言葉ではなく、22カ国のアラブ諸国の公用語であり、英語やフランス語と並んで国連の公用語の1つである。また、アラビア語は国境を超えて、世界の人口の約5分の1にあたる1.3億人を超すイスラム教徒の共通語としての役割も担っている。更に、アラブ諸国の中には日本と関係の深い産油国であるサウディアラビア、アラブ首長国連邦、クウェートなども含まれている。アラビア語を学ぶことは、この広いアラブ世界との相互理解の第一歩になるため、グローバル化が進む現在、アラビア語を学ぶことで得られるものは、大きいと思われる。

2 システムの目的

これまで、アラビア語の学習方法は本やテキストなどが主であるが、コンピュータによるマルチメディア機能、例えば画像、動画、音声などとアニメーション機能を合せて用いることにより、学習者に馴染み易く、学習し易くなることが期待される。アラビア語には次章で述べるような馴染みのある言語と異なる特徴がある。このような場合、学習者に取っ掛かり易く、継続して学習できる環境が非常に重要である。またインターネットを用いて、より学習し易い方法が可能と考えた。そこで、本研究ではそのような様々な機能を利用したアラビア語を学ぶための学習支援システムの開発を目的とする。

3 アラビア語の特徴と学習の阻害要因

アラビア語には日本人が良く接する言語と異なる所が多々あり、それが学習の阻害要因になっている。

3.1 文字・記述法の特徴

(1) アラビア語は、28文字からなっていて、右から左へ読み書きすること。

(2) アラビア語では大文字・小文字はないが、字形が独特で慣れないと違いが分からないものもある。アラビア語の文字は単独で書かれるとき(独立形または基本形という)と、他の文字とつなげて書かれるときとで形が変わる。また単語の中に文字の形が語頭、語中、語尾で変化する。まず、基本形と発音を覚えることが第一歩である。

(3) 基本的に単語は文字をつなげて書くが、中にはつながらない文字もあり、学習内容を複雑にしている。

3.2 発音の特徴

(4) アラビア語の母音が a, i, u の3つしかないが、文字の中でアラビア語独特の発音があり、カタカナやローマ字で表せない。次の例では、この3文字の発音をカタカナで表すと、3文字とも「ハー」でしか表せないが、実際の発音はそれぞれ異なり、カタカナで区別することができない。



図1:カタカナで表せない文字の発音の例

4 アラビア語学習支援システム

4.1 システムの考え方

3で述べたようにアラビア語には独特の特徴があり、それらが学習する上での阻害要因になっている。本システムではこれらの多くの要因はコンピュータを利用して、画像やアニメーション、また独特の発音の再生などに有効に使えようとする。そこで、本システムでは特に次の学習に重点をおき、画像、アニメーション、サウンドファイル等の有効活用を図る。

4.2 文字の書き方の学習

メイン・メニューから「文字」を選んでクリックすると、アラビア語の全アルファベット表のページに辿り着く。学習したい文字をクリックすると、その文字の個別説明のページにジャンプし、このページでは、その文字の発音と独立形の書き方を文書、画像、アニメーションなどを用いて説明される。

Development of Arabic Language Study Supporting System

†1 Salem AL-NEAIMI

†2 Norio HARADA

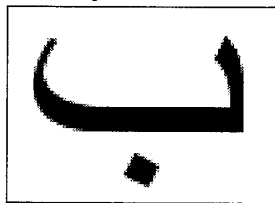
‡ Dept. of Computer Science, Faculty of Engineering, Takushoku University



図2：アラビア語のアルファベット表ページ

4.3 文字変化

上記で述べた文字の個別説明のページの下に、幾つかの機能（リンク）がついていて、その中で「文字変化」という機能がある。このリンクをクリックすると、上記同様、その文字の各変化形を文書と画像とアニメーションで表し、理解し易い形で説明されている。



独立形（基本形）

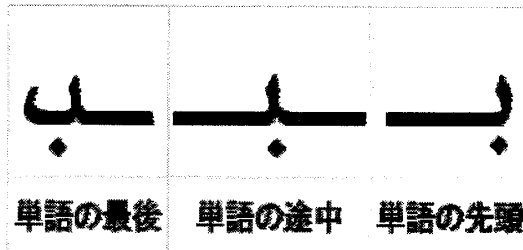


図3：文字変化の例

4.4 つづりのしくみ

文字の書き方を分かっているにもかかわらず、単語全体を書けないと意味がない。そこで、本システムでは単語のつづりのしくみとつながらない文字のつづりの学習ができる。それには、文字の個別説明のページの下にある幾つかの機能の中で、「つづりのしくみ」という機能ボタンをクリックすると、単語をつづる際に使われる「語頭形」「語中形」「語末形」の書き方と実例が沢山用意されており、それを繰り返すことにより、学習できる。



a) 普通（つなげて書く）の例



b) つながらない文字の例

図4：つづりのしくみの例

4.4 アラビア語独特の発音

文字の個別説明のページの下にある幾つかの機能の中でもう一つの機能がある。それは「発音」機能をクリックすると、その文字の発音の説明ページにジャンプし、シンプルな表で母音と組み合わせた場合の発音をカタカナ、ローマ字、そしてサウンドファイルを利用して、発音を表し学習できる。音符マーク（♪）をクリックすると、発音を再生する。また、できるだけ、沢山の単語全体の発音も表すようにサウンドファイルを作成して、用意している。

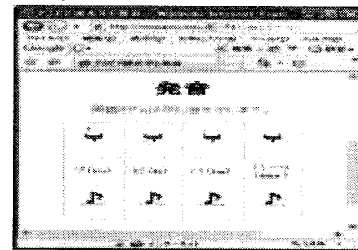


図5：発音ページの例

5 おわりに

アラビア語学習支援システムの開発について述べた。このシステムは、アラビア語検定試験6級のレベル〔6級は大学の週に2回の授業で1年間の学習相当（100時間）〕を完全に押さえることを目指して、作成した。更に、本システムは、文字、文法、会話、読み書きなどで、オールラウンドにアラビア語を身につくように構成した。そのほか、アラブに関する文化的な情報も多数盛り込んで、馴染み易くして、興味が増すように心掛けた。

6 参考文献

- [1] 本田 孝一：“アラビア語の入門”、白水社（2001）
- [2] アルモーメン・アブドラー：“アラビア語が面白いほど身につく本”、中経出版（2004）
- [3] アルモーメン・アブドラー：“アラビア文字練習プリント”、小学館（2006）
- [4] 奴田原 睦明 / 岡 真理：“CD エクスプレス アラビア語”、（2002）